

情報化が進む時代の家庭教育に求められるもの ～子供たちのインターネット・SNSの安全利用のために～



スマートフォン等の普及に伴い、多くの子供たちがインターネットを身近に利用できる状況になっています。インターネットやスマートフォンは便利で楽しい道具であり、SNS(※)はコミュニケーションの手段として子供たちにも浸透しています。

その一方で、いじめ等のトラブルや犯罪に巻き込まれる等の深刻な問題、情報機器の長時間使用による生活リズムの乱れや学習・学校生活等への影響の心配もあり、適切に利用する力の育成が必要です。

子供たちが、情報社会を生き抜く力を身に付けて、インターネットやSNSを安全に利用して、豊かな人間関係を作ることができるようになるためには、家庭と学校が両輪となって、子供たちと一緒に危険性や、安全に利用するための方法を考え、利用のルール作りに取り組むことが大切です。

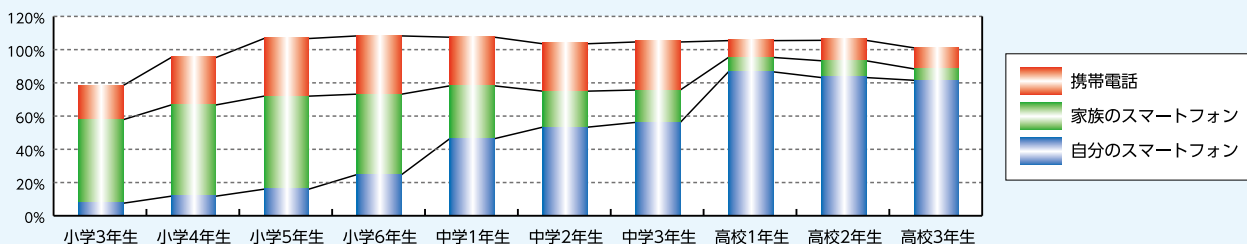
東京都と東京都教育委員会は、家庭でのインターネット利用のルール作りについての啓発や保護者の学習機会を提供するとともに、子供たちが自らSNSの利用ルールを定める取組を進めています。

今号は、子供を取り巻くインターネットやSNSの現状を踏まえて、家庭での取組を進めていただくために、東京都と東京都教育委員会が取り組んでいる各種の事業を紹介します。

※[SNS]…ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略。ネットワーク上のコミュニケーション機能を持ったサービスを指します。

詳しく知ろう！データで見る、子供・家庭とインターネット・SNSの現在(いま)

(1) スマートフォン・携帯電話の使用率



▶小学生でもほとんどの子供がSNSを利用可能な状況にあります。

(2) SNSによるトラブルの状況

	小学校	中学校	高校	特別支援
自分の悪口や個人情報を書かれた	3.2%	8.9%	15.4%	8.9%
仲間はずれにされた	2.6%	6.4%	11.9%	5.6%

▶年齢が上がるとトラブルが増加しています。

(3) SNSの利用時間について

	小学校	中学校	高校	特別支援
SNSを一日あたり3時間以上利用する	12.0%	19.3%	26.7%	21.6%
SNSを午後10時以降も利用している	8.3%	26.8%	40.0%	13.8%

▶高校生の4人に一人が3時間以上SNSを利用しています。年齢が上がると、夜10時以降までSNSを利用しています。

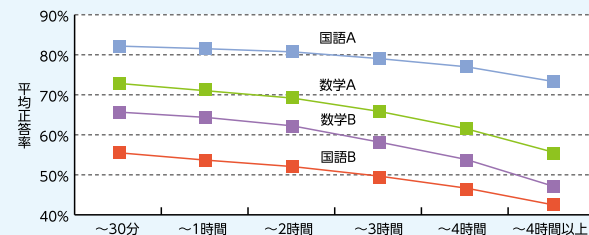
(4) ネット利用に関するルールづくりの状況

家庭等でルールを決めているか	小学校	中学校	高校	特別支援
決めている	49.4%	31.0%	11.4%	30.6%
決めていない	46.2%	68.2%	88.0%	59.7%
無回答	4.5%	0.8%	0.7%	9.7%

▶多くの子供たちは、ルールがない中でインターネットを利用しています。

※(1)～(4)は、平成26年度「インターネット・携帯電話利用に関する実態調査報告書(東京都教育委員会)」から作成(対象:児童・生徒18,612人)

(5) スマートフォン等の使用時間と学力の関係



▶スマートフォン等を長時間使用している生徒は学力・学習状況調査の正答率が低くなっています。

※平成26年度「全国学力・学習状況調査(中学生)(文部科学省)」から作成

※最新の報告は、東京都教育委員会ホームページに掲載している東京都教育庁「平成27年度児童・生徒のインターネット利用状況調査報告書(概要版)」を御覧ください。
http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/pickup/seisaku/seisaku_net/27houkougaiyou.pdf